

様式第五十の二（第４８条第６項関係）

認定事業適応計画の（中間）実施状況の概要の公表 （令和４年度）

１．認定の日付

令和４年７月２２日

２．認定事業適応事業者の名称

株式会社リンガーハット

リンガーハットジャパン株式会社

浜勝株式会社

３．認定事業適応計画の実施期間

令和４年８月から令和８年２月

４．認定事業適応計画の実施状況

（１）事業適応計画に係る事業の目標の達成状況

本計画では、非接触・非対面方式でリンガーハットブランドの冷凍商品を２４時間いつでも購入していただける冷凍商品自動販売機を全国に展開することにより、中食事業の拡大へ新たな事業展開を起こしたいとしている。

◎株式会社リンガーハット

令和４年度（２０２２年度）においては、工場直売所及びフランチャイズ店舗への冷凍商品自動販売機の設置を行った。また工場において、冷凍商品製造ラインの増設を行い、冷凍商品供給体制の強化を図った。

◎リンガーハットジャパン株式会社

令和４年度（２０２２年度）においては、直営店舗駐車場等への冷凍商品自動販売機の設置を行ったが、計画台数を上回る結果となった。

◎浜勝株式会社

令和４年度（２０２２年度）においては、冷凍商品自動販売機の設置はなかった。これはとんかつブランドの新商品開発が遅れたためである。

（２）生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標の達成状況

◎株式会社リンガーハット

生産性の向上に関する数値目標であるＲＯＡにおいて、基準年度（令和３年度）▲０.３％、令和４年度目標値０.６％に対し、令和４年度実績▲０.６％となった。

令和４年度（２０２２年度）においては、当初計画から下回る結果となった。これは新型コロナ

ウイルス感染症による影響を大きく受けたことによるものである。

◎リンガーハットジャパン株式会社

生産性の向上に関する数値目標であるROAにおいて、基準年度（令和3年度）▲78.8%、令和4年度目標値7.5%に対し、令和4年度実績値▲24.9%となった。

令和4年度（2022年度）においては、当初計画から下回る結果となった。これは新型コロナウイルス感染症による影響を大きく受けたことによるものである。

◎浜勝株式会社

生産性の向上に関する数値目標であるROAにおいて、基準年度（令和3年度）▲25.7%、令和4年度目標値▲11.8%に対し、令和4年度実績1.0%となった。

令和4年度（2022年度）においては、当初計画から上回る結果となった。

（3）財務内容の健全性の向上を示す目標の達成状況

◎株式会社リンガーハット

有利子負債／CF が 7.6 倍、経常収支比率が 106.7%となった。

◎リンガーハットジャパン株式会社

有利子負債／CF が ▲10.9 倍、経常収支比率が 108.5%となった。

◎浜勝株式会社

有利子負債／CF が ▲2.2 倍、経常収支比率が 108.8%となった。

（4）実施した事業適応計画の内容

◎株式会社リンガーハット

令和4年度（2022年度）においては、計画10百万円に対して、自己資金により174百万円の投資を実行した。これは工場の増産体制整備によるものである。

◎リンガーハットジャパン株式会社

令和4年度（2022年度）においては、計画90百万円に対して、自己資金により46百万円の投資を実行した。

◎浜勝株式会社

該当ありません。